平成28年度			事務事業評価表 A (平成27年							F度 の実績評価)			ロレノくエ	ハキカロ						
7-19	人と〇十尺					37 170 =	P 未 叶 仙 父		(T !	XZ 1 -	+/又	い大順の	ナミ		平成	28 年		3 月	29	
車	プレミアム商品券発行事業								事業区分				担当							
事務事業名)	新規/継続 新規		#	事務事業No. 0502010009		0096	31				
				政策体	\$系上σ	D位置的	tt					単独/補助)	補助		所属課		0503	01	
政	総合計画の			0502		工業の						主要事業				が一角味		商工観	光課	
策	政策を		0	5 魅:	力と活	力のあ	る産業社会で	づくり			市長	マニフェ	スト							
体	施策名		0		工業の							来PJ事				グループ	商	エ観光ぐ	ブルーユ	プ
系	基本事業	能名	0	1 商.	工業の	活性化					合併	建設計画	事業							
				財務会	計上の	D位置的	tt				事	第 業 期	間							
予算科	会計	款	項		事業	細		一般会記	! †			単年周	度のみ	(年度))			
	UI	02	01	00	00	00						L⇒ Ä	间間限定	の場合、	総投2	(3))投2	(量のを	側に訂	乙
法令根	見拠																			
(Do)	1. 事務	多事業σ	D現状把	児握(そ	その1)							•				•				

(1)事務事業の概要

• 合併建設計画事業

手

段

①事務事業の概要(事務事業の全体像)

国の平成26年8月第2日 日本の平成26年8月 国の平成26年8月 国の平成26年度補正予算地域住民生活等緊急支援のための交付金(地域消費喚起・生活支援型)を活用し、桜川市に所在し、地域振興に貢献する商店等において使用できるプレミアム付商品券を発行することにより、地元消費の拡大を図るとともに、地域経済の活性化に資することを目的とする。

- ・一般商品券(プレミアム率 30%)・飲食店型商品券(プレミアム率 40%)・子育て世帯支援商品券(配布 ※商品券額面の2倍以上の購入に使用でき る)
- ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
- ・業務を商店会に精通している商工会に委託し、委託費の支払いを行
- ・販売は発売初日の7月5日については岩瀬・大和・真壁庁舎の3箇所 で行い、市の職員の応援により販売業務を行った。7月6日からは商工 会の各事務所3箇所で行った。
- ・商工会より実績報告を提出してもらい、検査を行い業務完了した。

(0) 事	な声光の壬卯・ 討名	. 辛岡 レタ北	神悪・お神味の状況									
_	務事業の手段・対象 (担当者の活動内容)	* 思凶こ合指		, (活動量を表す指	標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度	30年度	
	商工会に委託し、委	託費の支払い	商品券販売額	商品券販売額(一般商品券)			0.00	160,000.00	0.00	0.00	0.00	
	発売初日の7月5日			(飲食店型商品	3券)	千円	0.00	26,250.00	0.00	0.00	0.00	
職員の応払	真壁庁舎の3箇所暖により販売業務を	行う。		商品券配布額(子育て世帯支援商品			0,00	21,735.00	0.00	0.00	0.00	
・美積報で	きを提出してもらい	、快直で1」					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象	(誰、何を対象にして	いるのか)	⑤対象指標 (⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標			26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	
			プレミアム商品	プレミアム商品券取扱い加盟店				429.00	0.00	0.00	0.00	
プレミアム	ム商品券取扱い加盟	店					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
							0.00 0.0		0.00	0.00	0.00	
③意図	(この事業によって対 るのか)	象をどう変え		⑥成果指標 (対象における意図の達成を表す指標)			26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	
			商品券使用額	商品券使用額(一般商品券)			0.00	207,339.00	0.00	0.00	0.00	
加盟店の決	肖費喚起と販売額の	向上	商品券使用額	商品券使用額(飲食店型商品券)			0.00	36,303.00	0.00	0.00	0.00	
			商品券使用額	商品券使用額(子育て世帯支援商品券			0.00	41,182.00	0.00	0.00	0.00	
(3) }	役入量(事業費)の	推移	26年度 (実績)			28年度(計画)			30年度 (目標)		期間限定 総投入量	
	国庫支出金 千円 県支出金 千円			0 86,701			0	0		0	0	
財 投 事 源)	0		0	0		0	0	
業 内	使用料・手数料	1 千円	C		0		0	0		0	0	
費 訴入	ペ	千円		0			0	0		0	0	
	事業費計(A)	千円	C		1,495 88,196		0	0		0	0	
	正規職員従事人数	人	0.00人	2.00人		0.00人),00人	0,00人			
量件費	件 述べ業務時間 時間			0.00 226.00 0 656			0.00	0.00		0.00		
	サ 人件費計(B) 千円 トータルコスト(A)+(B) 千円			0 656 0 88,852			0	0				
	2	7年度事業費	実績(千円)	.,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		_	28年度事業費	予算(千円)	- /		
13 委	託料	88,196										
事												
業 — 費 — —												
質の												
内												
٥/١												
		合 計							合 計 C			
			28年度の事業内	容		29年度	の事業内容		30年	F度の事業内容		
度ごとに ・主要事 ・市長マコ ・未来P	ニフェスト ┌──^											

3 000 0 111	ミアム商品券発行事業	事務事業No.	50201000961	所属課	商工観光課					
【Do】 1. 事務事業の現状		to o - to								
	きっかけは、いつ頃どんな経緯で開始				>= / H + = D *					
国の平成26年度網正予 発行事業を単年度事業とし	算の地域住民生活等緊急支援のための て行った	父付金(地域消費喚起・生活	5文援型)を活用して平成	(27年度にプレ	アングロロロー					
光1] 争来グ半年及争来しし	C1J 7/C.									
(6)この事務事業に対して関	图係者(住民、議会、事業対象者、利	害関係者)からどんな意見や	要望が寄せられているか	?						
商店等の各事業所では消	費喚起が一時的にあがるため、今後も	行ってほしいとの声がある。								
(7)前回の事務事業証価に対	する改革・改善の具体的内容									
(1)間色の子切字末町間に入										
【See】 2. 評価の部	*原則は事前評価。	I								
		評価項目								
①政策体系との整合性 (で	この事務事業の目的は市の政策体系に結びて									
目はバンハブハス	商工業の振興という観点から、商店	街及び事業所の活性化に繋が	ずる事業であるため市の政	策に直接結びつ	いている。					
結びついている										
巫	 ぜこの事業を市が行わなければならないの	かり並ぐないフェアーを成する	コかかり)(辻中卒託事業は	- スの夕称)						
				. との石物/						
性 妥当である	商工業の振興に直結した事業であり	、市の事業関与としては妥当	áである。							
③ 成果の向上余地 (成果	を向上させる余地はあるか?成果の現状水	準とあるべき水準との差異はない	Nか?何が原因で成果向上が	期待できないのか	?)					
	全体的には向上余地はないが、各店	舗によって利用頻度が違うた	か、もう少し均等に利用	IできるようなT	・夫をすれば平進化で					
向上余地がある	きるのではないか。		200, 000 010 010 1075	,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
	 響 (事務事業を廃止・休止した場合の影	(郷の右冊とその内窓は2)								
有 効 影響無	単年度事業で、一時的な消費が起き	て収入が増加するが、なけれ	は前の収入に戻るという	ことなので大き	で影響はないものと					
性	考える。									
	携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性	生がありますか?(市以外の取り)組みも含む))							
(他に手段がある場合) 二	具体的な手段、事務事業名									
余地がない	商工会の単独事業で行えればいいが	プレミアム分の財源を垮り	マオスのけ財政的に問題が	「あスため難しい	1					
7.18.3 /&V 1	同工公の手紙事業では元1160101万	、プレーテム力の対象を心は		はりることの大田のく	0					
か ⑥事業費・人件費の削除余	地(成果を下げずに事業費を削除でき	ないか?やり方を工夫して延	Eベ業務事業を削減できな	いか?)						
対	事業費の削減は難しいが、人件費に	ついてけ 季託弗を増短して	「人供弗友乗せかげ削減に							
性 削減余地がある	事業員の別場は疑しいが、八件員に	シャでは、安山真と垣頭して		./6.00						
	 正化余地 (事業の内容が一部の受益者	に テンフェン・ママ はちいかん	つぶせまを担がいま ハエに	た アハスかの						
X			? 支無有負担が公平・公正に	なっているか?)						
平性と公平である	市内の事業所全部に機会があるため	公平である。								
<u> </u>										
	舌と今後の方向性(次年度計画と予算									
(1) 1次評価者としての記	平価結果	(2) 全体総括(振り返り			* 4+1-1-1-1-1-1					
		この事業は、初めての取組 もなく遂行できた。	且でめつににめ、手採り0.)状況で行ったか	、特におおざな問題					
①目的妥当性 ■ 適切②有効性 □ 適切	■ 日本」会地もり	販売方法については、当E	R直接販売であったため行	i列が出来てしま	きい、 少し混乱が生じ					
□ ③効率性 □ 適切		た用に思えた。次回行う場合								
④公平性 ■ 適切		地がある。								
(8)										
(3) 今後の事業の方向性		(15 × b (=) 75 = 1 \		(4)改革・	改善による期待成果					
■ 終了 □ 継続 -	→ □ 改革改善を行う—— (□	(複数回答可) 目的の再設定 □] 効率性の改善		・休止の場合は記入不要)					
■ 不会 」	 	目的の再設定 L 有効性の改善 C			コスト					
□ 廃止 □ 休止	□ 現状維持	統廃合ができる			削減 維持 増加					
				向	0					
	5上で解決すべき課題(壁)とその解		- Table (1) - 1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	上上						
	(必要となるため、商工会の職員だけ)	では不足するため、今回は市	の職員の応援により対処	成維持						
した。 次向行う場合には 未託典に	こ人件費を上乗せして契約し、市職員の	7.応揺が無い とうた事業実施	た行う トンにする							
	- 八件員を工業として実制し、中央員の	グ心族が無いる フな事業夫心	211 J& JE 9 00	低下	$ \times \times $					
	(6)事務事業優先度評価結果									
1				成果優先度評						
				从未废儿及叶						
				コスト削減優先	t度評価結果					
【Check】 4. 確認及び改革	革改善に向けての指摘事項									
(1) 課長評価	- Wロに同じてVJUINT名	(2) 部長確認及び評	価 (課長評価により、(C、D判定及び確	電認が必要な場合)					
課長確認後の評価										
	44+)	確認欄								
A:継続(現状維										
[] B:継続(改革改	(善を行う) D:2次評価へ提出									